運動各郡市で順調

当市は近く目標額達成

園試独立

県園芸試験地（市内七日町）の独立昇格運動については今その後順調に進展しつつある。

先ず市では全員民が本運動の趣旨に共鳴され、目標額の消化も間近いと予想されるにいたっている。

一方中蒲原郡内では白根町（白根郷）がいち早く目標額約四十万円を完遂し、亀田郷、新津郷（新津町村目標額達成）五泉郷、村松郷もそれぞれ苗代と醸出金の進行を見ている。

次ぎに、県下の状況では先ず下越地帯の西蒲原郡が各町村別割当を完了、東蒲原郡も同様目標額の割当消化を見ている。

中越地方は中越支庁と連絡協議の上目下運動が進められており、三島、古志、刈羽、三島郡も協力機極的に推進中である。

上越地方は距離の関係上一番運動推進が遅れたが、行政機関や各町村会と相協力して間もなく運動がはじめられる予定。

以上のように全県下の農民、関係団体がひとしく本運動の完遂を待望しており、地元農民は涙ぐましい醸出努力を払っているので、この際市民各位殊に関係機者の協力と援助が一層期待されているわけである。

（県園試独立昇格期成同盟会）

今こそ徹底的に

稻の敵二化メイ虫退治

水稲の大害虫二化メイ虫ガの発生が、本年は平年よりやや早く六月五日頃が最盛期であったので新津市として六月十八日から六月三十日まで一斉防除期間と定め、ホリドールによる防除を実施している。

ホリドールは非常に毒性が強いので薬剤散布にあたっては、県の指定を受けた技術員の指導で危害防止に充分注意して実施することになっているが、一般市民各位も注意して戴きたい。

なお散布した場所には赤布又は白布（⊘と書いた旗が立ててあるから通行の際注意が必要である。

（農務課）

魚市はトキワヤ小路へ

六月十六日の市から

露店の鮮魚市は市民の魚屋さんとして一般から親しまれているが、現在の出店場所である狐神社参道は近く山谷路に移転することになった。

なお、この移転は、市民支障となるので六月十六日の市から、南小路（市役所裏通り通称トキワヤ小路）へ移転することとなった。

（商工課）

麦秋

全般に減　収見込み

田植がすんでつかのま、麦の刈取りで市の農家は大多忙である。

面積は、二十七町

ことしの麦類作付

大麦　二十七町

小麦　五十九町

秋の天候不良で、作付が思うように行かず、それに、全般に分ケツ、草丈ともに不良で、収量も平年に比べ相当の減収が予想され、農家は暗い表情である。

（写真は四金沢地内の麦刈り）

（農務課）

川・柳

平沢貞郎

見送ると酒客それほどよろめかず
先生の似顔こいつめの画才
自活の資自衛隊士になって貯め
香具師の口上聞いておりて売れません
塩辛の名物舌の先でなめ

（柳川柳出同人・竹田町）

引揚者在外事実調査票の提出は洩れなく

海外引揚者が永年政府より一引揚者在外事実調査票則」が公布されそれにより該当者は「調査票」の提出を要することになったので、この際漏れなく提出されたい。なお市役所内に新津地在外事務所を設置したから詳細はその方に問合せ願いたい。

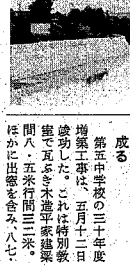
（商工課）

道路・川・学校工事次々成る

三十年度能代川改修工事完成

能代川の護岸工事は市内目宝町地内宝田橋下・新大橋間約三百米の内、三十年度工事として延長百五十米を施工、本年度工事として延長百五十米が極同出水期を前に五月中旬完成した。工事は割石のコンクリート張りで、一部は特種コンクリート壁仕立て、見た目もきれいなお化粧である。（写真↓）

なお三十一年度工事として同機間の残り延長百五十米を是非完了するよう県と去る五月十九日馬場建設大臣の管内土木事業視察の際特に促進方を陳情した。



五中特別教室工事成る

第五中学校の三十年度増築工事は、五月十二日竣功した。これは特別教室瓦ぶき木造平家建築蛍光灯完備、ほかに出窓を含み八七・三七坪、渡廊下長二五・四五米、巾三・六米二八四坪である。

五中特別教室

古津駅前面目一新

道路出来上る

津市古津地内の道路新設工事は四月末竣功し、古津駅の面目を新にした。

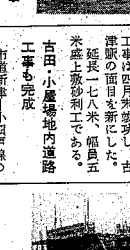
延長一七八米、幅員五米路上敷砂利工である。

市道古津駅前前田線新設工事は四月末竣功し、古津駅の面目を新にした。

延長一七八米、幅員五米路上敷砂利工である。

市道新津・小須戸線工事も完成

市道新津・小須戸線（古田・小屋場地内道路改修工事延長五〇八・五米幅員五米路土敷砂利工は竣功し、これに伴う道路は、古田・梅の木を経て県道新津―小須戸線に接続する延長三、二〇〇米の一部であって、市道の重要幹線である。



地内道路一

市森林組合の統合なる

（工務課）

昭和二十六年に発足した新津市山林組合は、この度新津市山林組合併により発展、関係団体がひとしく本運動の完遂を待望しており、地元農民は涙ぐましい醸出努力を払っているので、この際市民各位殊に関係機者の協力と援助が一層期待されているわけである。

（県園試独立昇格期成同盟会）

就業構造基本調査

七月一日

調査の結果は、今年は、はじめて実施するもので、本年は調査の特徴は、産業別、職業別、就業状態を明らかにするため、全国的に実施する基本調査（指定統計第八七号）を実施する。

この調査は、今年は、全国及び都道府県別に、国勢調査の対象世帯（国勢調査の抽出）を巡回訪問し、次の事項について調査する。

1、十四才以上の者に

(一)氏名・男女別・出生の年月日・世帯主との続柄及び配偶関係

(二)就業状態・従業先の名称及び事業の種類

(三)職業・通勤就業または新規就業者の有つき希望する理由

(四)就業時間または就業日数

(五)収入または収益

2、十四才未満の者について

(一)世帯における男女別

(二)職業・通勤就業または新規就業者の有つき希望する理由

(三)就業状態・従業先の仕事の種類及び従業上の地位

(四)求職活動の有無及び求職方法

(五)適当な年間の就業状態及び前職に関する事項

(六)就業時間または就業日数

(七)収入または収益

(八)十四才未満の者に付

なお、この調査で申告された事項は、統計以外の税金や、国の重要な統計を作るために使われるものであって、統計以外の目的に使われたり他に漏れるようなことは絶対にないから、安心して協力していただきたい。

（総務課）

第三回商業調査

七月一日

総理府統計局では、この七月一日現在で全国民の人口の調査が行なわれるが、この調査の結果は、国勢調査と共に、商業統計調査として商業者の活動状況の実態を明らかにする為、有効な統計を作るために行われるものである。

この調査は、商業統計表の結果として商業統計の資料として、産業政策上の基本的な調査として、国の経済政策上の資料として、商業者の実態を確実に把握して